「清浄さはイーマーンの半分である 。そして「アルハムドリッラー」は秤を満たし、「スブハーナッラー」と「アルハムドリッラー」は天地を充溢させる

アブー・マーリク・アル＝アシュアリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの平安と祝福あれ）は言った： 「清浄さはイーマー
ンの半分である 。そして「アルハムドリッラー」は秤を満たし、「スブハーナッラー」と「アルハムドリッラー」は天地を充溢させる。そしてサラー（礼拝）は光であり、サダカ（施し）は明証である。また忍耐は輝きであり、クルアーンはあなたにとっての証人、あるいはあなたに対しての証人である。全ての者は行いに励み、
自らの魂を取引する。それである者は自らを救い、またある者は自らを滅ぼすのである。」 [صحيح] [رواه مسلم]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は伝える:外面的清浄は、ウドゥーとグスルによってなされる。それはサラーの条件である。 「アルハムドリッラーは秤を満たす」という言葉は、崇高なアッラーへの賛美と、かれを完全なる属性によって描写することにより、審判の日に善行の秤が満たされるということである。 「スブハーナッラー」と「アルハムドリッラー」は、アッラーへの愛情と偉大視と共に、かれをあらゆる欠陥から無縁とし、かれに相応しい完全なる属性によって描写することであり、それによって天地が充溢するということである。 しもべの心、顔、墓、復活への招集の場において、「サラー（礼拝）は光」となる。 「サダカ（施し）は明証である」というのは、それが信仰者の信仰を実証し、そこにおいて約束されたものを信じないためにそれを行わない偽信者との違いを明らかにするものである、ということである。 忍耐とは、動揺や嫌気がさした状態に陥ることから自分自身を抑えることである。それは太陽の輝きのような熱が生じる光である。なぜならばそれは困難を伴うものであり、自分の心を抑える努力を必要とするものであり、人はそれによって正しい道を導き照らされ、歩き続けることができるからである。忍耐とは、アッラーへの服従におけるものであり、アッラーへの反抗から自身を抑制するものであり、この世における災難や諸々の好ましくない出来事が起こってしまった状況における忍耐である。 その読誦、内容の実践により、「クルアーンはあなたにとっての証人」となるが、実践も読誦も放棄すれば、「あなたに対しての証人」つまり反証にもなる。 また、預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、全ての人間はそれぞれの異なる行いのために努力し、奔走し、寝床から起き、家を外出するものだ、と語る。 そのような中、ある者はアッラーへの服従に勤しむことによって自らを地獄から救い、またある者はそこから逸脱して罪深い行いに陥り、自らを滅ぼして地獄に入るのである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/65004